

平成 26 年度 岡山県立真庭高等学校特別入学者選抜選択実施する検査（小論文）

【普通科・看護科】

次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

「古着持ち込み割引券」－回収ボックスで再利用－～欧州大手、日本に上陸～

いらなくなった服や靴をカジュアル衣料店などの回収ボックスに入れると、その店の割引券がもらえる――。こうした古着リサイクルの仕組みを日本企業にも採り入れてもらおうと、スイスの大手企業アイコレクトが来月にも日本法人をつくり、売り込みを本格化させる。

スウェーデンのカジュアル衣料大手「H&M」は3月から、東京や大阪、名古屋、福岡などの国内全 29 店に回収ボックスを置いた。古着を持ち込んだ人には500円のクーポンを渡す。クーポンは、3千円以上の買い物をすると使える。すでに国内で90トン以上の古着を回収したという。

H&Mが、アイコレクトと契約して始めた古着リサイクルだ。回収ボックスに入れられた古着はすべてアイコレクトが買い取る。グループの工場に運び、古着として使えるものは別の衣料店などに売る。使えないものは、自動車の断熱材などにリサイクルして別の会社に売る。

アイコレクトはこれまで、H&Mをはじめ海外の衣料専門店や百貨店など46社と契約し、日本を含む56カ国の計約6800店舗に回収ボックスを置く。

だが、日本企業との契約はまだない。このため、日本法人「アイコジャパン」をつくって売り込む。

日本法人の社長に就く岡本昭史氏は「日本は欧米より古着の再利用率が低く、『リサイクル後進国』と言われている。回収ボックスの仕組みを日本の常識にしたい」と話す。

【出典】平成 25 年 8 月 21 日(水)朝日新聞朝刊「古着持ち込み割引券」記事から

問い 下線部「古着リサイクルの仕組み」の「利点」を記事から読み取り、記述しなさい。さらに、日本国内で古着リサイクルを進めていくための方策について、あなたの考えを論じなさい。あわせて400字以内とする。